

部活動地域移行先進地域視察レポート 令和5年11月17日(金)～18日(土) (東京都渋谷区・千葉県柏市)

### 行程

- 17日(金)午後 東京都渋谷区役所にて渋谷区・鹿児島市と情報交換(資料は別添)  
 18日(土)午前 千葉県柏市の第五中学校、柏の葉中学校の活動を視察  
 午後 渋谷区立中学校でダンス部の活動を視察

### 渋谷区との情報交換・視察内容

#### 東京都渋谷区役所での情報交換の参加者

渋谷区からは渋谷ユナイテッド理事・サブマネージャー

渋谷区スポーツ部長・スポーツ振興課主査・教育委員会指導主事 の5名が参加

鹿児島市からは指導主事と専門員の2名が参加

枚方市は教育指導課指導主事2名が参加



#### 東京都渋谷区の現状

- 「渋谷ユナイテッド」という区から業務委託を受けた団体が**様々な競技のクラブチームを統括運営**している。
- 土日の活動を基本**としているが競技によっては平日も行われている。(現状は学校部活動も各校で活動している。)
- モデル校2校では今年度の秋ごろから、平日・休日の学校部活動についても渋谷ユナイテッドが統括運営**しており、大きなトラブルもなく今日まで運営している。
- 都中体連と連携し、試合にもユナイテッドからの**派遣コーチが引率**できるようになっている。

#### 渋谷区と渋谷ユナイテッドから

##### 指導者等について

- ユナイテッドは指導者が**トップコーチ**なので**満足度・納得度**は高い。
- 指導者の採用は面談を大切にしている。
- 地域の人材・企業をうまく活用している。(例) 代々木のバスケの試合前にダンス部の発表。デジタルクリエイティブはmixi社が協力。将棋部は将棋会館を利用。フェンシングは社員の元オリンピック選手が指導。
- 平日の**地域移行のモデル校には全運動部にコーチを派遣**している。R5の世代交代の時期で顧問の先生とコーチの指導者の交代を行った。**各校にスーパーバイザーとクラブマネージャーも設置**。
- ユナイテッドはマネージャーを配置して出欠を管理。メールシステムでやり取りできるようにしている。

##### 責任の所在

- 責任主体は休日**の活動は**ユナイテッド**。平日は学校と考えている。フェンシングとデジタルクリエイティブは活動場所が学校でない為、平日もユナイテッドが責任を持つ。
- 生徒同士のトラブルもユナイテッドが指導**する。そういった研修もユナイテッドがコーチに行っている。
- 生徒指導のレベルで情報共有を目指し、スーパーバイザー・コーチには校舎内に部屋を用意している。

##### その他

- 渋谷ユナイテッドの立ち上げ時の代表理事は前教育長で元体育科教員であった。
- 渋谷区の公立中学生は8校1800人(国立・私立にも多数進学する)であるが、元々各校でチームを成り立たせるの

が難しい土壌があった。

○ユニテッドのクラブは全公立中学校の生徒が参加可能。平日は自校の部活に参加しながら土日のみユニテッドに参加の生徒もいる。

○休日の引率も学校長が中体連に申請し、許可をもらったコーチとしてユニテッドコーチが引率・コーチする。

○会費はカード決済で年度を前期後期に分けて徴収している。

### 11月18日午後 渋谷区ダンスクラブの活動視察

○指導者はユニテッドコーチが3名。生徒は20名程度。

○生徒の管理・マネジメントは他社に渋谷ユニテッドが委託しており、そのスタッフが1名。

○備品の鏡は学校設備では足りなかったためユニテッドで追加購入した。

○生徒は上級者～初心者まで混在している。

## 柏市との情報交換・視察内容

### 柏市での視察

柏市教育委員会指導主事の方と千葉県から派遣されている統括コーディネーター帯同の下、市内2中学校を視察し、クラブコーチの方にお話を伺った。



### 千葉県柏市の現状

運動部は休日の活動は完全に **KSCA** という地元企業に委ねており、そこから指導者を各校に派遣している。学校教員が兼職兼業でコーチを務めていることも多く、その場合は KSCA のコーチとして派遣され、勤務している。

### 11月18日午前 柏市地域クラブ活動の活動視察

#### 指導者について

○各校の教員の半数はコーチをしていない。柏市で活用している外部コーチ250人中150人が教員で全登録数は400人いる。

○柏市は少年サッカー・少年野球が盛んで元々少年サッカーのコーチの方が指導者登録して指導に当たっている。部活動指導員でもあり、KSCA のコーチでもあるため、平日も指導している。

○指導員登録をしていない先生は土日の活動には参加しない。

○職員の時間外平均80時間→50時間まで減少した。

#### 参加者について

○クラブ化してから土日に参加しない子が出てきた。しかし、7割程度の生徒は参加している。

○小学校からクラブチームがあるような競技意識の高い生徒・クラブは土日の地域クラブにも参加率は高いが、逆は低い。

#### 費用負担について

○参加料月2000円、年間更新料5000円を保護者負担としている。

○費用負担については実施後の保護者からの反対意見はなかった。1回500円、月2000円は小学校の習い事に比べると安い。事前アンケートでも保護者も教員の労働環境は理解があった。

○市としてはお金を集めているので部活動であった時と比較した時の付加価値が必要だと考えている。

#### その他

○試行実施は規模が大きくなった時の想定をしておいた方が良い。特に連絡方法は大事。

○周知は地域クラブネットという市長も出てくる動画で周知した。校長会での説明の動画を用意して説明し、保護者へはオンデマンドを用意し、さらに希望する学校に訪問(18校中10校程度)して説明会を設定。中体連の専門委員長にも説明の場を設けた。

○過去は合同チームだったが、現在は単独中学校チームになったクラブもある。他中と合同でやったり多くなれば独立したりするが、その判断は中体連の専門委員長が行う。

○施設の利用時間の調整は各校の指導員の代表の方が行っている。外部指導者との日程調整はスプレッドシートを利用している。

○スタートは部活と地域クラブを一部並走させている。(土曜は部活、日曜は地域クラブのように)

○柏市には男子バレー部が学校にはないが、地域クラブとして新設された。全市から1つの中学校に中学校に集まる。移動方法は様々。

○土日の施設利用はセキュリティ上、校内に入れないのでAEDは外に移転した。

#### 視察を終えての課題整理

1. コーディネーターの役割の整理
2. 連絡システムを本格実施の半年前に構築して実装
3. 委託業者は地域クラブ指導者の勤怠管理・生徒の出席管理・地域クラブのスケジュール管理・会費の集金・地域クラブ指導者の雇用・派遣・研修等々を一手に担ってもらう必要がある。
4. 事前の説明の徹底。校長会+全校説明会(先生方には部活動ではない業務であることを周知徹底)
5. 指導者謝金の積算の見直し
6. 北河内中体連の各競技専門委員長との大会参加規程やチーム規程についての協議

#### 柏市での実証事業の概要(R3)

拠点校1校で4種目(バドミントン部 卓球部 男子ソフトテニス部 女子ソフトテニス部)

実施時間:週休日及び祝日を原則とし、週1回(3時間程度)の活動

参加人数:拠点校に在籍する生徒のうち、当該競技の活動を希望する生徒

調査内容:拠点校に所属する教員の在校等時間の変容等,学校の働き方に関する影響についての調査

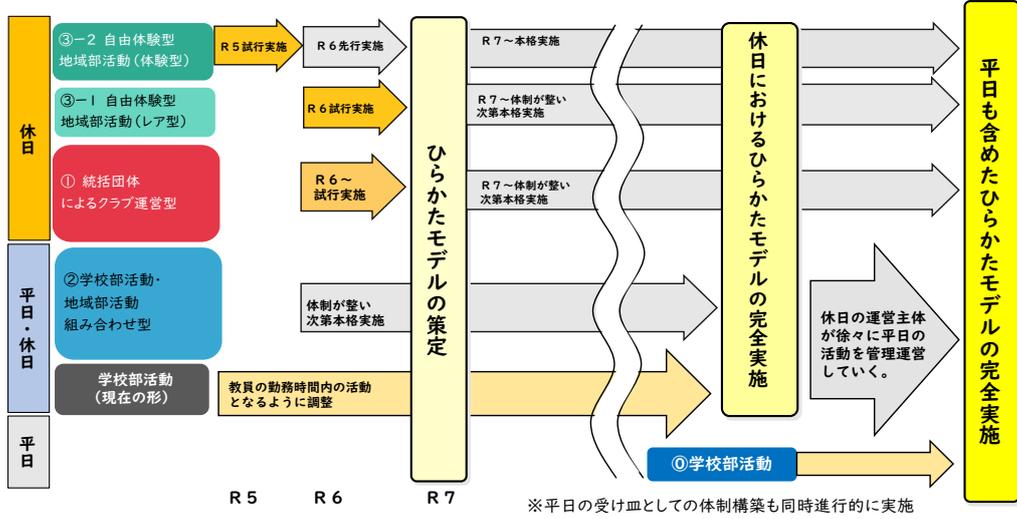
:専門的指導による参加生徒の満足度についてアンケート等により調査 等

# ひらかたモデル ロードマップ(平日含む)(案)

## 枚方市のめざす姿

- ・少子化の中でも、将来にわたり、枚方市子ども達がスポーツ・文化芸術に**継続して親しむことができる機会を確保**
- ・**地域の持続可能**で多様なスポーツ・文化 芸術等に親しむ環境を一体的に整備し、**子ども達の多様な体験機会を確保**

※試行実施で運営主体や責任の所在を整理しながら課題を解決したうえで本格実施につなげる。



## 令和6年度の試行実施について

